

## 人工衛星QuickBirdがとらえた世界遺産

### -首里城周辺（2）-

データ収集：宇宙技術開発株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前掲の画像から首里城を中心として、主な建造物が入るように切り出してみました。沖縄では風水が重んじられていますが、首里城もその影響を受けて建立されたと言われています。例えば「御庭（画像中央）」が長方形ではなく「台形」になっていること、正殿が西向きに建てられたこと、広福門、漏刻門、瑞泉門、歓会門が一直線上に並ばないように配置されていること等がよく知られています。これらのことが高分解衛星画像から伺い知ることができます。世界遺産に関わる各種の情報と対比しつつ画像を見ると、判読の視点が広まるとともに興味深い情報を得ることができます。

QuickBird data 観測日 2002年9月27日 © DigitalGlobe社

